

表紙に使用している画像は、揉み染めの小川和紙です。揉み染めは、和紙を一枚一枚手で揉んで、染料に浸け、絞って広げてつくる、自然にできた色の混じり具合が魅力の和紙です。今回は編集委員が自ら揉み染めた和紙を使用しています。

特集

P.2

3常任委員会から町へ

5つの要望

平成30年度一般会計予算

P.4

16人16色

議員の熱視線

P.12

一般質問に 10人が登壇

議員のつぶやきにも注目



みんなで一緒に帰ります

No.87 おかが 2018 春 おか 3月定例会 埼玉県小川町議会



わたしのひとコト「だから小川が好き」

P.19



高橋英雄さん

サイクリストも
注目の町。ニー
ズを捉えて整備
を進めてほしい

伊藤絵理子さん

大好きなバレ
ーボールを続け
ていきたい



応募総数 279

P.18

議会広報
全国コンクール

第5位 優良賞受賞



各ページ下にも
町のみんなから
ひとコト！



3 常任委員会

「調査研究のまとめ」から

平成29年度においても、各常任委員会の所管ごとに課題を見定め、その解決の糸口を見出し「町執行部に対する要望」として取りまとめました。去る平成30年3月26日、町政3分野に

総務常任委員会

研究テーマ シティプロモーション



日時 平成30年1月25日(木)～26日(金)
場所 栃木県鹿沼市
出席委員 松葉幸雄 委員長 笠原規弘 副委員長
戸口 勝・松本修三・宮澤幹雄・田中照子 各委員

【調査研究のまとめ】

鹿沼市は、「鹿沼シティプロモーション」を策定し、市の魅力を全国・世界に発信することで「注目され・選ばれる」自治体に進化することを目指している。元来、特産品や伝統行事等が数多く存在し、市へのイメージが分散していた中、あえて「いちご」をシンボル・フラッグシップ（最重要商品）に選択することで、イメージアップと定着化を図った。あわせて、「いちごいちえ（一期一会）」のキャッチコピーを用いた「PR戦略」や「セールス戦略」が展開されている。今視察を通じて、移住人口の獲得には「まず知ってもらうこと」と再認識した。また、鹿沼市と同様に、戦略的なシティプロモーションを充実させ、多くの方々に対して「小川町」を発信してもらいたいと願っている。さらには、「移住サポートセンター」等との連携から、移住・定住につながる取り組みに期待するものである。

厚生文教常任委員会

研究テーマ 少子社会における特色ある教育環境



日時 平成29年11月15日(水)～16日(木)
場所 長野県佐久穂町立佐久穂小学校・佐久穂中学校
長野県中野市
出席委員 島崎隆夫 委員長 高瀬 勉 副委員長
根岸成美・笠原 武・高橋さゆり 各委員

【調査研究のまとめ】

佐久穂町では、「小中一貫教育」「英語教育」「キャリア教育（ふるさと学習）」の3本の柱からなる独自の「佐久穂教育」が実践され、自然豊かな当地の環境を生かした「森林体験学習」等、特色ある教育が進められている。次の中野

市では、当初示した小・中学校に係る統廃合の基本方針が、特に廃する学校の地区住民から反発を受けて、見直しを余儀なくされた。その背景として、合併における旧市町間のわだかまりや、古くから根付くそれぞれの地域感情がハードルになったとのことである。当町も、約60年前に合併して誕生した町であり、いまだに旧町村単位の地区割りが色濃く残る。今後、仮に町立学校の統廃合が進む場合にあっては、同様の課題が起こることも想定される。今視察テーマにある独自の特色ある教育を配し、小中学校に係る適正規模の研究等について、スピード感をもった対応を望むものである。

町への「要望」につなげる

すために、先進地への視察研修を行ないました。さらに今回は、「議長に対する報告」にとどめず、係る5点の要望を訴え、速やかな対応と、その経過報告をお願いしました。

経済建設常任委員会

研究テーマ まちづくりと公共交通活性化



日時 平成29年11月6日(月)～7日(火)
場所 新潟県見附市
出席委員 井口亮一 委員長 柴崎 勝 副委員長
山口勝士・大戸久一 各委員

【調査研究のまとめ】

見附市では、自律的に「歩く」を基本とした「健康（けんこう）なまち」をコンセプトに、高齢化・人口減少が進む中であっても、地域活性化に貢献することと、持続可能な先進予防型社会の構築を目指している。また、「地域公共交通と一体的なまちづくり」の観点に基づき、路線バス（広域）・コミュニティバス（市街地）・デマンドタクシー（郊外）・コミュニティワゴン（地域コミュニティ）をバランスよく配備しながらも、過度な車依存ではなく、歩いて健康になる誘導策や、地域コミュニティの再編・にぎわいの創出等にもつながる仕組みが、見事に作りこまれている。そして、これらを担うリーダーの養成は、各行政区に配された担当職員により、力強く進められ地域を元気にしている。当町においても、今後進められるまちづくりの施策展開にあっては、多くの課題を一体的に捉え、所管を超えた総力の体制で取り組む必要性を感じたところである。

町長に要望書を提出！



松本議長と3常任委員長から力強く要望書が手渡されました。

要望書

- 要望1** シティプロモーション事業を早急に立ち上げ、アクションプランを策定し、「移住・定住」へと導くこと
- 要望2** 人や企業に対する当町の魅力的なイメージの確立と発信をすること
- 要望3** 行政区担当職員制を導入し、行政区ごとに担当職員を配置すること
- 要望4** 学校の再編成を考える中では、義務教育学校を含めて、小中一貫校の検討をすること
- 要望5** 将来を担う人材を育てるために、町独自の特色ある教育を検討すること

可決 平成30年度 一般会計予算
89億1000万円 前年度比5000万円(0.6%)増

16人 16色 議員の熱視線

平成30年度一般会計予算は、①まちの魅力向上 ②子供・子育て施策の充実 ③安心・安全の推進を重点分野とし、限られた予算において「選択と集中」の考えから、「減り^めと張り^はり」のある編成がされました。ここでは各重点分野から大注目・期待する3事業をピックアップ。各議員の考察から、それぞれの取り組みを紹介します。16人の議員がどんな視点で捉え、どんな角度で判断したのか、ご一読ください。(個性を生かし、原文のまま掲載しています)

いよいよ歩き出すデマンド。この事業は点として評価するのではなく、経済面・健康面などトータルで費用対効果の中・長期的に見ていくことがポイントと考える。

松葉幸雄

まちの 魅力向上

デマンドタクシー本格運行
1,508万円



公共交通空白地域の解消や、高齢者等の外出支援を目的とした事業。自宅及び町内の乗降ポイント195カ所（公共機関・医療機関・スーパー等）間を、一律500円（片道）で利用することができます（要事前登録）。

町民の長年の要望であった本事業が、4月1日から運行開始になりました。この事業により、町内各所への移動が楽になり、町の活性化にぎわいの創出に期待できるものと思われる。今後の運行の中で改良点も生じるであろう。松本修三

さまざまな意見交換と実証実験を経て、本格運行されたデマンドタクシー。住民への周知を徹底し、さらに、誰もが住みやすい町づくりの推進を。

田中照子

一念発起の選択に拍手。集約都市形成への道筋は焦らず慎重に。

笠原規弘

16歳以上の誰もが、500円で195カ所の目的地に行ける画期的な交通システム。たくさん外出して、町民の活発な行動力（見て・買って・食べて・遊んでなど）を刺激してほしいです。

戸口 勝

町民皆様の長年にわたり強い要望であった。マスコミ等で報道されている現在、少子高齢化が急変の時代となり、日常生活での生活環境も目まぐるしく変わる昨今である。本格運行について、「公共交通空白地の解消」及び「自らの力で移動する手段を持たない高齢者等の移動支援」を目的とする日常生活での移動システムとして、自宅から目的地まで乗り合いにより送迎され安価による（均一料金）安心して乗れるシステムです。宮澤幹雄

子育てサービスをワンストップで。期待しています。真のサービスが提供できるか。現場力が問われる。

井口亮一

子育て拠点として多くの町民の利用が望まれる。

柴崎 勝

議会の側から見ていて、子育て支援課の課長をはじめとしたココット子育て総合センター事業にかける情熱とチームワークが特に光って見えました。未来の宝でもある子育て支援の充実はなんともうれしいことです。今後の関係者の活躍と発展を楽しみにしています。

金子美登

子ども・ 子育て施策 の充実

ココット (小川町子育て総合センター) オープン

子育てに関する事業を集約した施設。妊娠前から子育て期まで、切れ目のないワンストップ支援を図る。子育て支援の拠点施設と、災害時における福祉避難所の機能もあわせて持つ。



さまざまな可能性のある施設ができたと大いに期待している。しかし、施設をどう利用してもらえるか、魅力ある施設とはどういうものか、今までにない行政の考え方が絶対に必要。「行きたい」「行ってよかった」「また行きたい」そう思ってもらえるには、お金がない中、どんなニーズがあり、どんな展開が必要か。若い職員を生かし、他の町にはない個性と面白さと先進性のある運営を絶対にしてほしい。職員は全国あちこちの情報を積極的に生かし、怖がらないでやってみてほしい。そうであれば1、2年で「無駄な施設」という批判を間違いなく受ける。

山口勝士

子育て支援事業の拠点として、妊娠・出産・子育て環境の充実等の対策をしっかり推進していただくことにより、当町の出生率向上、若年人口増につながることを期待します。

大戸久一

安心・安全 の推進

町民会館耐震・複合化の
改修 8,440万円



町民会館「コミュニティ棟の耐震化」と、中央公民館老朽化による機能の移設に伴う「複合化の改修」を実施。1階は中央公民館、2階は町民会館となります。（ホール棟の改修は含まれていません）

今は、これが精一杯の対応策なのか。いつかは大きく変えなくては来ないときがある。いつやるかが大きな課題である。

島崎隆夫

アセットマネジメントから始まった公民館機能をリリックに、との発想はよいが、大ホールの方角性を出していない進め方には疑問。

高橋さゆり

8440万円を掛けて進む改修。簡易な建物なら“新築”できてしまうのでは。費用以上の効果に期待している。

高瀬 勉

町の財政に余裕があれば、公民館は別にあることが望ましいが、仕方ない。とにかく町民が安心して利用できることを第一にしてほしい。

笠原 武

町の新たな魅力ある拠点として耐震対策での施設の長寿命化と複合化による新たな事業展開と公民館活動の拠点としても利用者にとっても駐車場の確保などができたので、さらなる有効活用と施設稼働率のアップを期待しています。

根岸成美

議員が 質した 平成30年度 当初予算 309 のこと

Heisei 30th Initial budget Question

「予算議会」といわれる3月定例会。一般会計及び各特別会計予算を中心に、計37議案に対する質疑数はなんと309。ここでは注目したやり取りをピックアップ、わかりやすくまとめてみました。

詳しくはインターネットからご覧いただけます。「小川町議会 会議録」で検索してみてください。
※3月定例会の会議録は5月末ごろから見られます。



小川町議会 会議録

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」

確かな学力を身につけよう 漢字能力検定料が予算化

Q 小学4・5年生を対象に、「日本漢字能力検定」を実施することのだが、目的等は。また、なぜ漢検なのか、英検のほうが必要なのでは。

A 漢字の力を育てることは、日本語に対する知識やスキルを高め、他教科の学力向上に波及する面も大きいと考えます。また、検定を受けるということは、子供たちの「学ぶ意欲づけ」につながるものと捉えています。

英検については、校長会や学校へのアンケート等を通じ、十分検討した上で「漢検」に決定したところです。

教育相談室

Q サービスの充実が図られるというが、内容は。

A 現在、広域適応指導教室と同じ施設で行なわれていますが、専門の指導員・補助員ともに不足する時間がありました。これ

までは、双方が補い合いながら進めてきましたが、それぞれに1日分の人員を増やし、さらなる充実につなげます。

小学校のパソコン入れかえ

Q どのようなものなのか。

A 教育用コンピュータの入れかえ時期に合わせ、将来の活用を見越した「タブレットPC」に交換するものです。各小学校に20台ずつ導入します。

子育て総合センター

Q いよいよリニューアルオープンを迎える「ココット」。今後、長らく多くの利用者（町民）に愛される施設とするために、充実した事業展開・運営を望むが、ソフト事業の充実・集約はもちろんです。事業が軌道に乗った後には、以前、議会の調査研究報告にあった静岡県長泉町の「ママラッチ事業」1等の新たな事業展開も考えていきたいと思っています。

解説 ママラッチ事業1

長泉町在住の子育てママが、子育てなどに必要な情報や住み続けたいと思ってもらえる「夢」のある情報を、ソーシャルメディアを通じて発信している。子育てママ同士の交流や、ネットワークづくりにも寄与する取り組み。

細川紙製の記念証

Q 結婚記念証・お誕生記念証の反応は。

A 小川和紙の日（11月27日）から3月末までに結婚記念証は23件、お誕生記念証は55件で受け取られた方には大変喜んでいただいています。下のお子さんがいたでいて、上のお子さんに

もほしいとの要望があり、町長の判断で町が確認できる範囲でさかのぼって交付をするようにしました。

小川赤十字病院

Q 小川赤十字病院の支援事業として、改築時（1期工事）にかかる建設費の補助2億5000万円。あわせて運営費の補助

として毎年5000万円を支援してきたが、平成30年度はその最終年（5カ年で総額2億5000万円）となる。支援するに当たり、議会としても多くの要望を付したが進捗は。

A 平成29年度においては、「認知症初期集中支援チーム」の一員として、小川日赤の看護師に協力いただきました。また、救急体制の強化として、救急車の応需率90%を目指すという目標が実現しています。毎年お願いしている「産婦人科」の設置については、医師の確保が課題とのことです。今後は、健康教育への協力や、特定健診・人間ドック等の受け入れについて、改善をお願いしていきます。

いつまでも住み慣れた地域で 自分らしい暮らしを続けるために

Q 認知症初期集中支援チームとは。

A 住み慣れた地域で安心して暮らせるように、複数の専門職（医師・認知症専門看護師・ケアマネジャー・保健師等）が認知症の発見・早期治療ができるよう支援するとともに、認知症を正しく理解していただくため、普及に努めるものです。

介護施設事業所

Q やつと小規模多機能型居宅介護事業所ができた。今回の第

7期計画では、希望する事業所があればまだ増やせるのか。

A ニーズ的には大変有効的な施設なので、希望の事業所があればぜひ進めていきたいです。

在宅医療・在宅介護

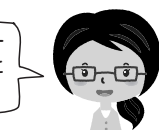
Q 比企地区在宅医療介護連携推進とは。

A 9市町村により、比企医師会と連携して地域包括ケアシステム構築のために、在宅医療と在宅介護にきめ細やかなサービスを提供するものです。

昨年11月27日「小川和紙の日」から、当町では婚姻届・出生届を提出された方（希望者）に、感謝をこめて細川紙製の記念証を発行しています。私たち職員一同お待ちしております。



病院やスーパーマーケットなどが一体となった複合施設。



（Y・Oさん・45歳）

駅周辺にチェーン店の居酒屋



（T・Hさん・49歳）

駅前に気軽に
入れるカフェ



（Y・Kさん・68歳）

教訓として生かせ 巨額の不納欠損処理

Q 長期にわたり町を苦しめてきた特別土地保有税の滞納繰越額がついにゼロ円になる。民間企業の予算・決算書等では、会計に影響を与えない最小限の金額（例えば1円）を意図的に「記録」に残し「記憶」も消えないような手法をとることがある。これまでの労苦や経験を教訓として残す方法は。

A 欠損処理は法に従って行ないます。課税台帳には残るので、全ての記録から消えるわけではありません。

企業誘致の専門員

Q 企業誘致にかかる人材（嘱託員）を採用することだが、**A** 企業誘致関係に関して知識と経験を有する方を雇用し、スピーディーに企業立地に向けて取り組んでいくものです。

福祉避難所

Q どのように進めるのか。

A 民間の社会福祉施設等の事業者を対象に説明会を開催します。福祉避難所として協力いただける事業所に対し、資機材費（上限20万円、補助率2分の1）の補助で、施設数の拡大を図ります。

ふるさと納税

Q 新たな返礼品の発掘は。

A より閲覧率の高い、トラストバンクが運営するポータルサイト「ふるさとチョイス」に掲載をしていきます。小川町産の返礼品には、「まだまだ掘り起こせるものがある」と専門業者の声もあります。

コンビニ支払い

Q 便利なコンビニ支払いだが、その費用はいかほどか。

A コンビニ収納手数料は1件58円、口座振替手数料は10円で

住の魅力体験ツアー

Q 新事業の詳細は。

A セタまつりの日に1泊2日で宿泊していただき、和紙すき体験や交流会を通じ小川町の魅力を堪能していただきます。50歳くらいまでの若い関係人口（小川町ファン）を増やしていく考えです。

ごみ減量化

Q ごみ減量化に協力を願う旨の案内が全戸配布されたが、特に紹介したい取り組み等は。

A 職員からの提案で、「段ボールコンポスト」を試験中です。これは、手軽に段ボールを加工し、その中に生ごみを入れて簡単に堆肥化しようというものです。実は現在、環境農林課の廊

森林環境税

Q 平成36年度に創設される市町村の森林整備の財源に充てる「森林環境税」。国は、平成31年度から前倒しして一定額を先行

下のところで、役場庁舎内から出る生ごみを利用して実証実験を行なっているところです。だんだんとPRしていきたいと考えています。

平和の尊さを伝えた中学生派遣 新たな取り組みに期待

Q 平和推進事業として取り組んできた広島で開催される「平和記念式典」への中学生派遣事業をやめるとのことだが。

A 平成11年〜29年の19年間で、168人の派遣を行ないました。代表で式典に参加した生徒からは、平和の尊さを多くの皆さんに伝えていただけたものと考えています。今後も、学校教育と連携を図りDVD等を活用し、学校教育の中で平和教育を推進していきたいと考えます。

公共施設等総合管理計画

Q 何を進めていくのか。

A この計画では、「30年間で40%の公共施設の床面積を削減すること」を目的に、施設の統廃合や長寿命化を推進していきます。新年度は、町民会館の耐震化や中央公民館との複合化を予定しています。今後は、和紙体験学習センターや伝統工芸会館、また小中学校の適正規模も検討が進むと思われます。



旧下里分校の用務員棟がオシャレなカフェに大変身。地域のPR拠点・移住サポートセンター（支店）として、多くの魅力を発信していきます。自慢のコーヒーはいかがですか。

す。引き続き口座振替を勧めていきます。

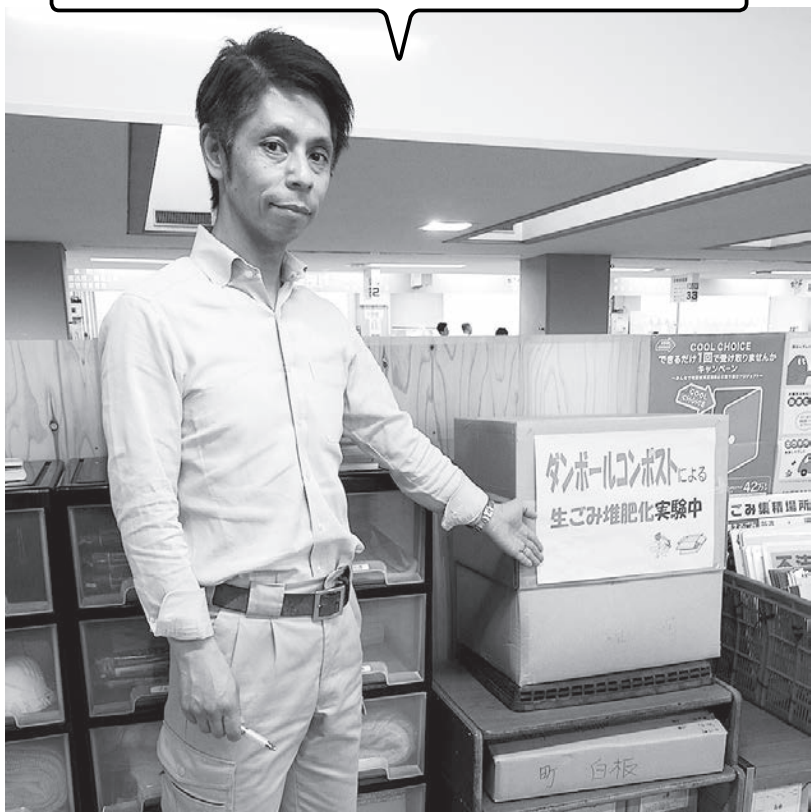
移住サポート

Q 地方創生の要として取り組んでいる「移住サポートセンター事業」。新年度においては、現行の楽市おがわ2階事務所以外に、「旧下里分校をサテライ

ト施設」として活用していくとのことであるが、詳細は。

A あくまで出先機関としての扱いです。旧下里分校の持つ集客力を生かし、町や地域の魅力（農業等）を感じ取っていただき、移住をPRしていく施設と考えています。

堆肥化のために“土日”もかき混ぜに来ています（笑）。ぜひ、皆様のご家庭でもチャレンジしてみてください。お問い合わせは、環境農林課まで。



乳幼児の健康と安全を学び、じーじ・ばーば教室。

(N・Tさん・30代)

もっと自然を生かした施設。BBQ場とか。

(M・Kさん・51歳)

槻川にもBBQが楽しめるような設備を。

(M・Yさん・43歳)

テニスの盛んな小川町。オムニのコートでプレイしたいな〜！

(T・Kさん・12歳)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」

平成29年度補正予算に関する質疑

条例その他の質疑

「マチイロ」アプリ

Q 町広報紙の印刷製本に係る予算が減額となった。かねてから、指摘している自治体情報に特化したアプリ「マチイロ」との連携は。

A 平成29年度においては、委託業者に対してマチイロとの連携は求めています。新年度分の契約を整える中では、仕様書に付して連携させたいと考えています。

予防接種事業

Q 予防接種事業費の大幅減（860万円）となった要因は。

A 特に子供に対する予防接種は、おおむね1歳までに接種するものが大部分を占め、当初160人分を見込んでいましたが、出生が120人程度にとどまったためです。また、高齢者インフルエンザの予防接種は、ワクチンの供給が上手くいかず、接種前に、インフルエンザにか

かってしまう方が多かつたためと捉えています。

早期不妊検査等

Q 「早期不妊検査・不妊治療」に係る予算が減額されたが、取り組みの振り返りを。

A 町内のスーパーマーケットに協力をいただき、ポスター掲示等を行ない周知に取り組みました。問い合わせ・相談は数件ありましたが、年齢制限等の補助要件を満たせず、いずれも実績につながりませんでした。（3月6日時点）

通いの場づくり

Q 今後の展開や課題等は。

A 当初は10カ所の目標で進めていましたが、担い手をつくる難しさで大変行き詰っています。住民主体による「いきいきサロン」から100歳体操につながるなど、今後は少し違う方法で、社協などとタイアップをして進めていきます。

町指定介護施設

Q 設備及び運営に関する改正の内容は。

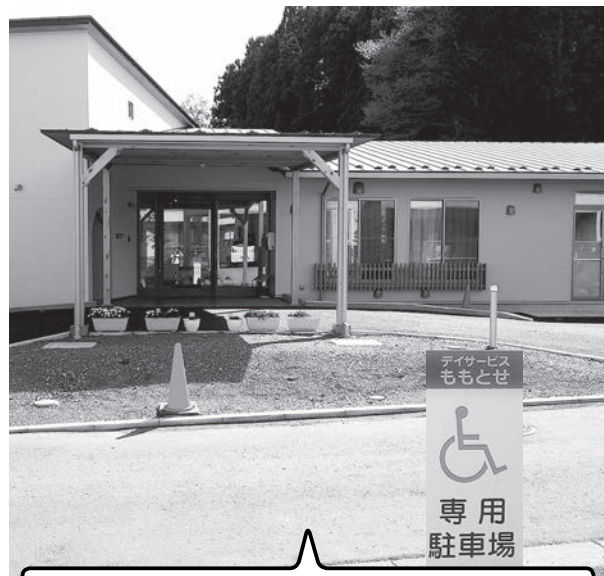
A 今後は、障がい者も受け入れられるように共生型の施設へと変わっていくために改定します。また、病院や療養所が長期医療と日常生活を送るための施設を新規に開設した場合は、「介護医療院」の名称となります。24時間対応型のサテライト施設については、参入条件を緩和して

増やす計画でいます。

介護保険料改定

Q 改定の詳細は。

A 国の算定基準により、平成30～32年度の保険料の改定をします。所得などで10段階に分けられますが、基準額では、年間3600円（月額300円）の増額となります。なお、負担を抑えるために、基金の取り崩しをしました。



待望の小規模多機能型居宅介護施設ができました。今後は、必要数も増える予想されます。介護する方、される方が安心して暮らせるまちへ。

市町村国保の大改革・広域化 国民健康保険の運営母体が埼玉県に

長らく市町村単位で運営が行なわれてきた「国民健康保険特別会計」の取り組み。いよいよ平成30年度からは、その財政運営の主体が埼玉県に移りました。今広域化に伴って、これまでに質疑された関連の内容を要約してお伝えしています。

国保の広域化って どういうこと？

これまでは、町が保険者として運営してきましたが、4月からは、「国保財政の安定」と「効率的な事業運営」等を目的に、埼玉県と町が共同保険者となります。また、県が財政運営の中心的な役割を担うことで、制度の安定化を図るものです。

今後、町の役割は？

引き続き、住民の皆さんと身近な関係の中で、「資格管理」「保険給付」「保険料の決定、賦課・徴収」「各種保険事業の実施」等の役割を担います。各種の手続き等に大きな変更はないので、国保に関する相談は町民課（国民健康保険グループ）までお願いします。

国保の特別会計にも「財政調整基金」が設置されるの？

家庭で言う“貯金”のことで、3億円くらいあります。お金が足りなくなった時や、税の上昇を抑えたり、低所得者の被保険者に配慮した税率設定が可能になったりと、柔軟で効果的な使い方が求められています。

基礎課税額の賦課方式 が変わったの？

これまでの4方式から、所得割・均等割の2方式に改まりました。埼玉県の「国保運営方針」ではこの「2方式を標準とする」とされたからです。

広域化に伴った税率の改正で納税額は増えるの？

国からの財政支援等もあり、今回は84%の世帯で減額になる見込みです。大きくは所得によるところですが、増額となる世帯に対して丁寧な説明をしていきます。

保険者努力支援制度って何？

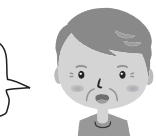
医療費抑制のために、ジェネリック医薬品の推進や、生活習慣病の予防等に取り組み、定められた目標値をクリアすると、インセンティブとして交付金が得られるものです。取り組み方しだいでは、国保税の上昇も抑えられるので、ご協力をお願いします。

賛否が分かれた議案をお知らせします

議案名	議員名	審議結果	笠原 武	井口 亮一	笠原 規弘	高瀬 勉	田中 照子	山口 勝士	高橋 さゆり	松葉 幸雄	金子 美登	島崎 隆夫	戸口 勝	大戸 久一	柴崎 勝	宮澤 幹雄	根岸 成美	松本 修三
平成30年度一般会計予算 ※総額89億1000万円。関連質疑はP6～9参照		可決	× 討	○	○ 討	○	○	○ 討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成30年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算 ※総額34億2739万円。		可決	× 討	○	○	○ 討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成30年度後期高齢者医療特別会計予算 ※総額4億116万円。		可決	× 討	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討	○	○	○	○	○	—

※（○は賛成、×は反対、欠は欠席、討は討論）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

ごみなどを投棄しない。させないこと。



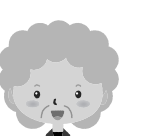
（K・Kさん・69歳）

歩道でしょうね。危険がいっぱい。



（S・Sさん・65歳）

バーベキュー場。川や湖のほりにあればいいですね。



（K・Tさん・55歳）

小さな子供たちが思いっきり遊べるひろーい公園。芝生張り。



（S・Hさん・30代）

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。

職員「元気があいつ、笑顔の対応が住民の安心に！」

高橋さゆりが問う

行政サービスの向上を

Q 子育て支援課がココット内に移動となるが、空きスペースの活用は。

A 総務課長 プライバシーに配慮した相談場所としての使用を検討しています。広さは、現在の2部屋程度です。

Q 受動喫煙対策を考えると、庁舎敷地内の喫煙場所は、もっと工夫するべきとを感じるが。

A 総務課長 役場庁舎内を全面禁煙として灰皿を屋外に設置し、受動喫煙防止に努めています。今後、喫煙者に対しマナーの啓発と合わせ、灰皿の設置場所の

「広大な自然の宝庫を台無しにしてはなりません。」

笠原 武が問う

プリム造成跡地の保護対策を

Q プリムローズカンントリー倶楽部の造成跡地に挙げた太陽光発電設置計画（業者・工事内容）の把握は。

A 都市政策課長 平成16年夏ごろに提案がありました。事業者は「エトリオン・エネルギー3合同会社」で、合計出力は3万9600キロワットとのことですが、まだ工事内容についての相談はなく、詳細は把握していません。

Q 昨年11月には、すでに下請けと思われる業者が、大型重機でダンブなどの進出道路（町道）の拡張工事を始めたとのことである。まだ工事の許可も下りていないはずだが。

A 都市政策課長 環境アセスメント等の関係で調整池の状況確認をするために、事業関係者が「敷の撤去」を行なったものと理解しています。

Q まず近隣の住民に知らせるべきではなかったか。

A 都市政策課長 まだ申請がされたわけではないので、計画が示された段階で住民説明会を設けていきます。

Q 産業廃棄物等の不法投棄があつてはならないと考えるが、その対策は十分か。

A 環境農林課長 重要事項と考え、地域住民を初め、埼玉県や関係機関と連携を密にしていきたいと考えています。

ワーク・ライフ・バランス。実践するには、工夫の技術が必要です。

高瀬 勉が問う

男性による家事等への参加は

Q 特に男性による家事・育児・介護への参加が課題と捉えているが、現状等は。

A 総務課長 平成28年度に町が実施した「男女共同参画推進プラン住民意識調査」では、夫婦の共働化が進む中で、家事や育児の負担が依然として女性の側に重くのしかかっている傾向であることが明らかになりました。現在、各課で行なわれている講座について、男性の参加を促すための工夫や、内容の充実を推進していきます。

Q 学校教育における「家庭科」の重要性を訴えたい。学習指導要領に示された授業時数は確保されているか。

A 学校教育課長 当町における平成28年度の家庭科及び技術・家庭科の平均実施率³から、ほぼ確保されているものと捉えています。

Q 4月にリニューアルオープンを控える子育て総合センター「ココット」。

A 子育て支援課長 従来、実施してきた事業の連続性・継続性を中心に据えつつ、新規事業も計画していきます。具体的には、「お父さんのための子育て講座」「パパと子の広場」「よりよい夫婦関係のための心理学講座」等で、主に土曜日の開催を予定しています。



庁舎内に案内サインが導入されました。大きな字でわかりやすくなりました。



地域住民の有志によって立てられた産廃等の不法投棄警告の立て看板。



「絵本男子」の大竹 龍氏により盛況となった「ココット」オープンセレモニー。

解説 平均実施率³

小学校第5学年…98.9%、第6学年…101.5%、中学校第1・2学年…97.4%、第3学年…98.1%。

解説 祖父母手帳²

祖父母が育児をしていたときに比べ、情報が多く育児方法が大きく変化している中で、現在の育児法を学び、父母との関係を円滑にすること。また、「地域における子育て」の担い手となるきっかけにするため、さいたま市等で発行されている冊子。

ご近所の助け合い。あと、子供たちの声。



(M・Tさん・72歳)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう「小川町に必要なもの」



井口亮一が問う

ブラックバイト等から守る術を

Q 昨年12月に東中学校で開催された社会保険労務士会による出前講座。対象の学年や授業の位置づけ等は。

A 学校教育課長 第3学年全員を対象とし、「働くことの意義とルールや心構え」「知らなかったとならないために」「働くことは生きることと社会保険」のテーマで、社会科公民の授業の一環として開催しました。

Q 教育委員会は校長会等の機会を通じて、今出前講座の評価や情報共有は行なったか。

A 学校教育課長 外部の専門家による授業は、より実社会に即したものであり、生徒にとっても教員にとっても大変有意義なものであったと捉えています。教育委員会としては、校長から授業の様子や評価について報告を受けています。また、中学校長及び小学校長にも報告・説明がされ、出前授業について情報の共有が図られています。さらに今後は、この取り組み効果の検証を行なっていきたいと考えています。

Q 今後、このような出前講座を活用していくか。

A 学校教育課長 今回の社会保険労務士会による出前授業は、各中学校に対して教育委員会から情報提供し、実現した先進事例です。引き続き、働きかけしていきます。



ブラックバイトなどから「若者を守るために」と開催された出前講座。



戸口勝が問う

住みたい住み続けたい町を

Q 「移住サポートセンター事業」だが、2年間の取り組みの振り返りを。また、平成30年度からは担当課が変わることだが。

A にぎわい創出課長 担当として積極的に関わりましたが、全てを受けとめることができない状態でした。今後は、移住につながる発信力を高め、子育てや農業分野と密接な連携をする中で、それらをフィードバックする体制の構築を望みます。

Q 移住・定住の関係各課と、移住サポートセンターが一堂に会する会議体は。

A にぎわい創出課長 現状は、にぎわい創出課との連携でとどまっていますが、新たに担当する政策推進課において、移住サポートセンター職員と関係各課が一堂に会する場を設ける予定です。

Q WEB検索の充実等、「移住行動」につながる新たな取り組みは。

A にぎわい創出課長 平成29年度は「埼玉ではじめる農ある暮らし」について、移住の取り組みは実現できませんでしたので、平成30年度は各課連携をして実施できればと考えています。また、町ホームページと移住サイトとのリンクは、有効であると捉えています。町の印象・魅力の一つに「農業」があるので、新たに旧下里分校を移住の情報発信・相談窓口として活用する予定です。



移住・定住、雇用、子育ての安心できる環境整備を。(改修された旧下里分校用務員棟)



田中照子が問う

和を大切にしたい町並みづくりを

Q 当町が「県の景観モデル地区」に選定されたが、その背景は。

A 都市政策課長 昨年7月に県内8地区目として、駅南側の市街地が「和紙のふるさと・商都小川町」景観モデル地区に選定されました。理由は、現存する町家や洋館、蔵など良質な建物が魅力的な景観形成をしていることや、NPO等の市民団体が景観づくりに積極的に活動していることが認められたものです。

Q 選定記念として実施された「まち歩きと講演会」の実績等は。

A 都市政策課長 まち歩きは、定員20人が参加し、講演会は81人の参加がありました。講演会は、建物所有者に対する内容で、「資産活用により将来の安心を得られ、町にもにぎわいが生まれる」という提案ができたと考えています。参加者からは、「町の歴史や身近な景観資源がたくさんあることを知った・身近なところから景観づくりに取り組みたい」などという意見がありました。

Q 選定され、町としての今後の取り組みは。

A 都市政策課長 今後は、モデル地区の景観形成のルールづくりを目標に、研究会の発足や勉強会、まち歩きやイベントをNPO等と共同で継続していきたいと考えています。



資料は県・町・NPO等の3者共同。官民連携は、1+1が10の力です。

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」



駅前ロータリーの大渋滞を解消してほしい。



特にはない。けっこう住みやすいし、不便は感じていません。



和紙マラソンにフルマラソンの部を設けてほしい。



大学や専門学校の誘致をすべきでは。



日本の有機農業の再生は、当町から始まっていますよ。

かねこ よしのり
金子美登が問う

有機農業再生のモデル事業を

Q 当町で「有機農業」が始まったのは、昭和46年。町政においても力を入れたおかげで、他町村に先駆けてその耕作面積や農業者の増加、地場産業との提携が進む等、農村再生のモデルとして、全国から注目されている。関連の最新データは。

A 環境農林課長 平成27年の農林業センサスによると、当町の販売農家数は299軒で、そのうち有機農家数が33軒あり、全体の11%です。

Q 平成29年度策定の「小川町元気な農業応援計画（おがわ型農業）」（通称

おがわん）の取り組みについて、手応え等は。また、ブランド化の進捗や、それに要した費用は。

A 環境農林課長 幅広い分野の農家の方々から意見を聞き作成したのですが、皆さんの「土づくり」等への思いをブランド化に込めました。また、「おがわん」認定者（41件）のうち、10件から土壌診断の申し込みがあり、微生物の多様性・活性値の分析を進めているところです。ブランド開発費としては、250万円程度を要しました。

Q 有機農業を下里地区以外の他地区に広げるための支援策は。

A 環境農林課長 土づくりの基本となる落ち葉等、当町の資源を利用した「堆肥施設の整備や講習」を考えています。



有機農業による「村おこし」を目指して。



衛生管理の知識は、非常時等にとつても役立ちます。

しまざき たかお
島崎隆夫が問う

町立施設での衛生管理の体制は

Q 今シーズン猛威を振るったインフルエンザ感染症であるが、町立の施設では感染を防ぐための対応は十分に行なわれたのか。また、職員は感染症対策を含めた衛生管理体制の知識を持ち、非常時に対応することはできるのか。

A 総務課長ほか まず、小中学校では2月16日現在で、延べ26学級が閉鎖されました。なお、各校は実態に合わせて子供と保護者へ指導及び注意喚起をしました。次に、町施設の調査では2月末時点で14人の職員が感染し、療養のために休暇を

取得しました。これは、例年に比べると多い状況であったといえます。非常時の対応については、今後、各施設ともに構築する必要があると考えています。

小川町の農業・林業

Q 町が進める「小川町元気な農業応援計画」いわゆるオガワンプロジェクト。県が進める「里山平地林再生計画」。国、県、町が進める「多面的機能支払い交付金事業」。町での取り組みの現状は。

A 環境農林課長 オガワンは、現在合計で41件の認証登録があります。PR誌の発行やさまざまな機会を使い、発信を支援していきます。また、多面的機能組合同士の情報共有も進めたり、里山平地林再生計画も積極的に進めていきます。



農林業に関する施策の活用で、町の魅力UP！住民も自然と元気になる！



負けるな人口減少に！

やまぐち つねひこ
山口勝士が問う

人口減少に負けない取り組みを

Q 当町の人口減少の状況から見える課題にどう取り組んでいくのか。

A 政策推進課長 ここ数年は町の人口ビジョンにおける見込みを上回る人口状態で進んでいます。65歳以上の老年人口が増加傾向であるのに対し、0歳から14歳の年少人口及び15歳から64歳の生産年齢人口は急激な減少傾向にあります。このような状況が続くことにより、人口構成は逆ピラミッド型となります。子育て世代に代表される若い世代を積極的に町に呼び込むとともに、転出抑制や定住促進などをお

し、いかに社会減を改善するかが最大の課題になると考えています。

町活性化への観光の取り組みは

Q 東京オリンピック・パラリンピック、川越秩父プラチナルート、インバウンド対策等々、都心から近い地の利を生かしたさまざまな体験や、観光地としての展開は。

A にぎわい創出課長 ラグビーワールドカップ対策をはじめ、寄居町・東秩父村との観光連携による東京オリンピック・パラリンピックへの取り組みを展開していきたいと考えます。埼玉では両大会とも会場があり、そうした会場で県とも連携してPRを行ない、当町を知って訪れてもらえるよう、魅力の発信に努めていきます。



子育てを支えるまちづくりの新拠点「コcott」子育て総合センターがオープン。

カラオケ。現在、東松山や川越まで行っています。



(K・Tさん・10代)

誰でも利用できるスポーツ専用の体育館。



(U・Kさん・43歳)

歩行者天国。休日にゆっくり駅前を歩きたい。



(T・Sさん・10代)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと一緒に見よう、考えよう
「小川町に必要なもの」

当町の頑張っている姿、広く発信しようよ。

おおとひさかず
大戸久一が問う



感謝の気持ちで ふるさと納税を

Q 全国では、ふるさと納税による歳入が20億円を超える自治体もある中で、当町は297万5000円（平成30年2月15日現在）となっている。多くは返礼品によるところだと捉えているが、故郷への「愛着」「感謝」「恩返し」等の観点から、町外に転出してしまった子供や親戚、あるいは友人・知人等に対して、当町へのふるさと納税を働きかける等の発信はできないか。

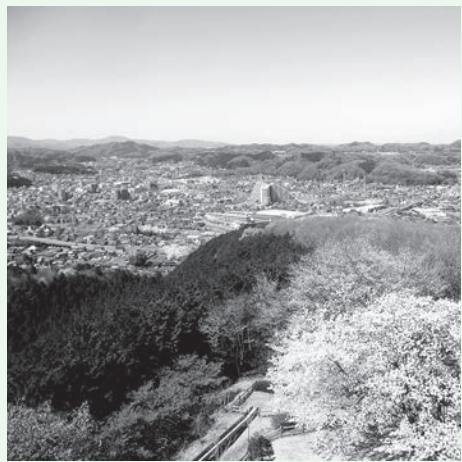
A 政策推進課長 転出された方が思い出を偲ぶことができるような返礼品を考えていきます。また、より寄附者の関

覧率が高いポータルサイトの利用や、寄附の使い道を具体的に示し、起業支援等に活用することも研究していきます。

新焼却ごみ施設の建設計画は

Q 当初と比べ予算が大幅に増えたようである。また、当町民の利用は少ないと見込まれる温浴施設などの維持管理費や、永続的にかかる可燃ごみの搬送費用等を考えると不安ではないか。

A 環境農林課長 焼却施設以外の施設は熱の有効利用の観点から、余熱利用施設として位置づけられ、周辺施設を含めた一体的な整備構想となっています。また、その財政負担については、建設予定の地元に十分配慮し、必要な施設や運営等について協議していきます。



和紙のふるさと小川町。



一部事務組合議会から報告

可燃ごみ処理

埼玉中部資源循環組合議会（平成30年2月8日）

事業者選定開始

平成30年度の予算総額は、8億1900万円（小川町負担額4187万5000円）。今年度の主な事業は、環境アセスメント、事業者選定支援業務、土地の購入、物件補償などを計画しています。

ごみ処理・し尿処理

小川地区衛生組合議会（平成30年2月20日）

施設延命はごみ資源化が重要

平成30年度の予算総額は、12億4098万3000円（小川町負担額3億4857万2000円）。新ごみ処理施設の動向を注視しつつも、当施設の長寿命化を図るためにはごみ減量化・資源化が最重要課題です。

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会

比企広域市町村圏組合議会（平成30年2月7日）

斎場改築が始まります

平成30年度の一般会計及び各特別会計の予算総額は、35億2560万円（小川町負担額5億144万3000円）。なお、東松山斎場の工事期間は、平成30年度～32年度になる予定です。

議会広報全国コンクール



小川町らしさが評価され 優良賞を受賞！

奨励賞（編集・デザイン）受賞から一念？ 1年！ついに83号「おがわざかい」が全国コンクールにて第5位**優良賞**に入賞しました。「和紙デザインの表紙や、住民の目をひく紙面構成が優れている」など講評をいただきました。引き続き、「一人でも多くの町民の皆さんに読んでもらえる議会報」を目指し、編集技術の向上と議会としての情報発信に努めていきます。

議会広報発行特別委員会一同



平成29年度町村議会広報表彰
（第32回広報コンクール）



今後の「おがわざかい」にもご期待ください！

私は、数年前から自転車ロードバイクに乗っています。年齢とともに代謝が落ち体重が増え、体型にも変化が出てきたので、有酸素運動をしようと始めました。今では自転車の魅力にはまり、ヒルクライムの自転車レースに参加するほどの趣味になっています。体も同時に鍛えられ、体幹・筋力アップで健康を維持できています。小川町は起伏に富んだ地形に恵まれ、自転車雑誌に掲載されるサイクリングコース、峠道のアクセスポイントとして注目され、たくさんのサイクリストが訪れています。今後、小川町サイクリングコースマップの作成や休憩ポイント、商店街に駐輪用スタンドの設置、自転車専用道、公衆トイレの整備を進めていけば、今以上に小川町にたくさんの人が訪れ、商店街など町全体が活性化していくと思います。



明るく元気な
町が好きです

たかはしひで お
高橋英雄さん
Takahashi Hideo
（高谷南）



つながりを
大切に

いとうえりこ
伊藤絵理子さん
Ito Eriko
（下小川三）

私の住む下小川三区にはカタクリまつりやオオムラサキ放蝶会、夏祭りなど、コミュニティクラブを中心に活動し、全員で参加できる行事がたくさんあります。行事をとおして大人から子供までつながりを持つことができ、安心して楽しく生活することができます。その中で育ててきた子供たちは「人と接する、人に頼りにされる」そんな職業を見つけ、実現に向けて頑張っています。私自身は子育てをしながら趣味のバレーボールをしています。所属するクラブでは「細く長く」を合言葉に、生涯スポーツとしています。クラブを通じて助け合える仲間にも出会い、人とのつながりに感謝し、大好きなバレーボールを続けていきたいと思っています。

わたしの
ヒトコト



ケーキ屋さん、花屋さん、パン屋さんなど、かわいいお店がズラリと並ぶ駅前商店街。

（H家子供一同・12歳）



広々とした芝生のある公園。子供を自由に遊ばせたい。

（Y・Tさん・30代）

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう

「小川町に必要なもの」



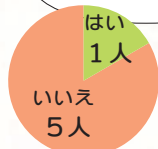
議員の

聞く × つなぐ

町の声

「ココット」をつくった男たち編

議会だよりを読んだことがありますか？



この際、言わせて！ (原文のまま掲載しています)

コンビニが近くに
なく、昼食の確保
に困った日もあり
ました。

私も子を持つ親で
す。子育ての拠点
整備ということで、
普段以上のやりが
いを感じました。

揉み染め和紙は一
点もの。失敗が許
されない状況での
型取りや裁断に苦
勞しました。

とにかく「寒かつ
た」です。塗料
が凍ってしまった
ことも……。

大事に使っ
てあげてく
ださい。



担当職員の方も
熱心に現場に通
われ、ともに良
い施設を作ること
ができました。

揉み染め“和紙”を配した壁面をバックに「ワッシッシ〜(笑)」

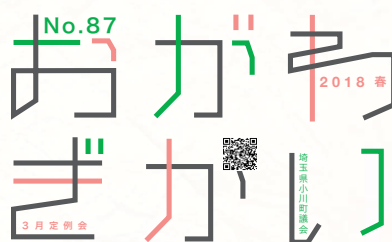
傍聴から はじめよう!!

どなたでも傍聴でき
ます (事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

次回定例会は
6月26日(火)~
開会は**10時**です



傍聴席の
定員は
40名



No.87

小川町議会だより
平成30年3月定例会春号
(5月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 松本修三

編集 集：議会広報発行特別委員会

委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子

委員 井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫・高瀬 勉

編集後記

望遠レンズを使う人は「写真を撮らない方がいい」と言う写真家のコメントを見かけた。「あと一歩前に出て」五感で感じながらシャッターを切る。議会広報編集者の信条にも通じる。町民の心に寄り添う距離感を大事にしたい。こうした考えが高じてとうとう「和紙の揉み染め」に編集委員そろってチャレンジした。「ココット」子育て総合センターのエントランス壁面に魅せられたからだ。これからも挑戦と共感をつなげて行こう。(井口亮一)

